

転倒・転落について

家の中や屋外での転倒、転落により数多くの方々がケガをされ、救急車で搬送されています。特に高齢者と幼児の占める割合が多いです。

1 高齢者の場合

ベッドや階段からの転落。廊下、玄関等での転倒。

高齢者の方は若年者に比べて骨が脆くなっていることが多いため、転倒などで腰や足の骨が折れてしまうケースがとて多いです。骨折してしまうと入院が必要となり、手術をしなければ治らない場合もあります。また、手術を行っても、最悪の場合では自分で歩くことが困難になってしまいます。

また、転倒・転落時に頭を打つと、外傷性の脳出血など命に関わる問題となってしまう場合もあります。

☆予防のポイント

- ・家の廊下や階段に手すりを設置するなどの対策をしましょう。
- ・玄関などの段差がある場所に踏み台を設置し段差をなくしましょう。
- ・フローリングは滑りやすいので滑り止めのついたスリッパなどを履きましょう。
- ・日頃から適度な運動を行い、体力の向上を図りましょう。



2 幼児の場合

「つかまり立ちをしていて親が目を離した隙に・・・」、「窓の側で遊んでいて窓が開いていたため転落・・・。」

等といった事故が実際に発生しています。幼児は、成人と比べ体に対する頭の割合が大きいため、頭部外傷を生じる可能性が高くなります。



☆予防のポイント

- ・部屋の中に物が散乱しているとつまづく原因となるので、整理整頓を心掛けましょう。
- ・幼児は安全、危ないといった判断ができません。部屋を見渡し危険となるものを排除しましょう。階段などには柵を設置し入ることが出来ないようにするのも効果的と考えられます。

